

県小体研だより

鳥取県小学校体育研究会 令和5年10月発行

<大会 直前！>

○第4回実行委員会

(10月12日 於：倉体文)

安達総務部長(住吉小)、日浦企画・運営部長(啓成小)、近藤編集部長(加茂小)、内田研究部長(福米東小)の現状報告を受け、当日に向けての確認事項を共有しました。

また、会議の冒頭には、吉田副会長(伯仙小)が会場校・就将小 三木校長のコメントを紹介しました。

「体育用の用具が、米子市各校から就将へ集まり始めました。多くの参加者が来られるように頑張ります。」

○参加者状況(10月11日現在)

- | | |
|----------------|---------|
| ・鳥取 135人 | ・島根 76人 |
| ・岡山 30人 | ・広島 10人 |
| ・山口 17人 | ・徳島 10人 |
| ・香川 7人 | ・愛媛 49人 |
| ・高知 8人 | 計342人 |
| ・中・四国小体連役員 68人 | |
| 合計410人 | |



<大会への思い、期待すること>

この数年間、研究大会に携わってきた実行委員会メンバー3名のコメントを紹介します。

近藤剛夫 会長

(美保小)

第61回中・四国小学校体育研究大会(鳥取大会)が、いよいよ間近に迫ってきました。就将小学校の先生方の指導のもと、子どもたちがいきいきと体育学習や保健学習に浸り、実践発表の先生方と共に、鳥取の取り組みたかったことを各県の先生方に伝えることができれば、これほどの喜びはありません。

試行錯誤の中、実践や協議を重ねてくださった先生方。大会運営に、細かなところまで気配りをしながら、多くの時間をかけて準備をしてくださった先生方に心より感謝申し上げます。この大会を通して、鳥取の小学校体育の実践が、県内はもとより中・四国の各県にも広がっていくチャンスと考えると、大会当日は、期待と楽しみでいっぱいです。

みんなで力を合わせて成功させましょう！！

夏目貴史 理事長

(津ノ井小)

中・四国小体連の柱の一つである研究発表大会の開催の意義について、鳥取大会をどのような大会にしたいかを当時の県研究部長と話し合ったことを思い出します。「わたしたちの体育」と「わたしたちの保健」の活用が感じられる大会にするために、目玉と共通実践事項を挙げ、研究と実践に取り組んでいただきました。これまでに中・四国小体連の会議でも声を大にして宣伝してきました。全県に渡って使用しているからこそできる大会内容だと思います。

これまでの取組に感謝しています。また、当日もよろしくお願いします。

内田 誠 研究部長

(福米東小)

全県で研究を進めていただき、いよいよ中・四国小学校体育研究大会の本番を迎えることとなりました。実践校である就将小学校では、3年間の研究の成果を全国の先生方に届けようと、直前まで授業を磨き上げてくださっています。その熱を、子どもたちが多様に関わり合う様子、授業に浸り真剣なまなざしや笑顔で取り組む様子、そして「わたしたちの体育」をもとにその学びを自分の力としていく様子から感じていただけるものと期待しています。

引き続き、各郡市の先生方のお力添えを何卒宜しくお願いします。

○分科会参加者状況（10月11日現在）

・体づくりⅠ	22人
・体づくりⅡ	28人
・器械・器具	23人
・器械運動	29人
・走・跳	29人
・陸上運動	40人
・ゲーム	30人
・ボール	40人
・水泳	21人
・表現	30人
・保健	43人

特に米子市の先生方の、「就将小が授業に集中できるように。参加者が『来てよかった！』と思える大会に。」の思いのもと、授業協力や運営面等で時間を超越して献身的に動いておられることに感謝、感謝です。

大会を含め、この数年間の研究の広がりや深まりが、県内多くの学校に浸透することを期待します。その結果、「できなかったことができた」と笑顔になる子どもや、「体育が好きになった」と友達に語る子どもが増えることを、願わずにはられません。

(文責 県小体研・顧問 長谷川)

